

# 四季の郷内の活性化における若者定住策は

## 町長 町外からの移住世帯への支援を拡充



奥山勝吉 議員

### 近年の出生数は

**問** 赤ちゃん100人プロジェクトの状況は

### 健康福祉課長

出生数の推移は、22年は90人、23年は106人、24年は98人、25年は84人、26年は83人、27年は70人である。

### 子育てにかかるお金は

**問** 子育て用のお金の推計は

### 企画政策課長

文部科学省の統計の調査であるが、3歳から高校卒業まで全て公

立の場合は520万円ほど、高校のみ私立の場合は700万円ほど、大学まで全て公立の場合には1300万円ほど、高校、大学のみ私立の場合は1700万円ほどのようである。

### 四季の郷の企業誘致は

**問** 四季の郷地内への企業進出断念後の、新たな企業への誘致状況は

### 町長

その土地を購入入してくれる企業を何とか紹介してもらえるよう、金融機関をお願いをしている。

### 若者定住政策は

**問** 「すまいる！住まい」による若者定住促進への効果は

### 建設水道課長

若者世代の定住を促進するため、住宅取得に対して補助する事業である。27年からの3年間で49戸が建築された。工事総額は約10億8千万円、補助金については約2900万円であり、地域経済の活性化にも大きな成果があった。

### 四季の郷の居住状況は

**問** 四季の郷地内への町外からの移住者の状況は

### 建設水道課長

若者定住サポート事業により、過去3年間で13世帯が四季の郷に居住した。町が販売する用地を購入して建て

た方は7世帯で、そのうち、長井市からの移住が2世帯、飯豊町からが1世帯であった。

### さくらの保育園隣地の福祉用地の利用は

**問** 住生活基本計画のアンケートで、四季の郷に求めるものはスーパー、コンビニという回答がある。それらを踏まえた用地の利用は。

### 町長

地区の活性化を結びつく利用を考えていく必要がある。かつて福祉の向上という観点から商店の誘致なども検討したが、誘致まで至らなかった。

総合的に考えながらこの用地を生かしていきたい。

### 人口減少緊急対策プロジェクトチームは

**問** チームに女性職員は入っているか

### 企画政策課長

一定の職務の職員にお願いした経過があり、現在、女性職員は入っていない。

### 副町長

今後は、女性の視点も活かしながら、実効性のある問題解決に向けた取り組みをしていきたい。



かわいい赤ちゃん



四季の郷、若者タウンの推進を